

# 近くて遠い中国語

## －初級中国語授業における語彙教授法について－

Close yet Far Chinese vocabulary

- Lexical Teaching Method in Elementary Chinese Course-

徐 璐 Xu Lu

### 要旨

本稿では初級中国語学習者の語彙習得に関する実態を調査することで、語彙理解における問題の所在を明らかにし、より効果的な教授法を考究することを試みた。2023年度の初級中国語授業の履修者を対象に語彙理解に関する調査を行った結果、日本語にはない漢字が理解しづらいこと、日中同形の漢字について母語の干渉により誤解しやすいこと、類語の理解・使い分けが難しいことという問題点が存在することは判明された。それに対して、漢文訓読、字体の分解や語源の説明などの教授法を取り入れて追加説明した結果、履修者の語彙に対する理解が深まる傾向にあることを示すことができた。

キーワード：初級中国語、語彙習得、教授法

Keywords: Elementary Chinese, Lexical Acquisition, Teaching Method

### 1. はじめに

筆者は2019年度から、福知山公立大学の学部生に向けて開講される初級中国語授業（第二外国語の選択科目）を担当してきた。授業中、履修者から「手机（スマホ）」という単語は、手に机なのになぜスマホの意味になるのでしょうか」といったような中国語の単語に関する質問がいつも投げかけられ、常々興味深く感じていた。

確かに、日本人にとって、中国語は外国語でありながら外国語でないような存在である。日本語には中国語から伝来した漢字・漢語があるため、中国語を学ばなくても文意や語彙を推量して理解できる部分がある。中国語は日本語と似ており、日本人にとって最もマスターしやすい外国語だと考える人も少なくない。

しかし、日本語における漢語のほとんどは古典中国語から流入したもので、現代中国語と意味や用法の異なっている例が少なくない。例えば、前述した「机」は、古典中国語では「几」と通じて「小さなつくえ」という意味があったが、現代中国語のなかでは機械器具や機会などの意味となっている。よって、同じ漢字だということで中国語を安易に理解してしまえば、逆に語彙の学習の妨げになることもある。

この近くて遠い中国語はいかに認識すればよいだろうか。これまでの研究は、中国語と日本語の類似性について歴史、文化と語学の三方面から論じてきた<sup>2</sup>。語彙の異同に関しては、日本人が最も誤解しやすいと思われる日中同形異義語に主たる関心が当てられており、語例を集めて意味の相違を比較してきた<sup>3</sup>。しかし、それ以外の非同形語への関心が薄いうえ、日本語を母語とする中国語学習者を対象とした語彙習得の実験的検討もほとんどされていない<sup>4</sup>。

筆者は、2023年度の「中国語Ⅰ」と「中国語Ⅱ」を履修した学生を対象に、語彙理解に関する不明点について調査・収集した。その中で、もっとも問題視される非同形語を整理したうえで、漢字・漢語の知識を生かしながら、より効果的な単語語彙の説明方法を思索して本稿にまとめている。これによって、初級中国語授業の語彙習得においてより効果的な教授法を考究、提案し、今後の大学における中国語語彙教育の方向性の一端を示すことを試みたい。

## 2. 初級中国語授業について

筆者が担当する初級中国語授業は、「中国語Ⅰ」（前期 15 回）と「中国語Ⅱ」（後期 15 回）があり、いずれも入門段階の授業である。『中国語 GO』という大学独自のテキストが使われており、授業概要や到達目標などについて、2023年度のシラバスの一部を以下に抜粋して簡単に説明しておく。

「中国語Ⅰ」は、中国語を学ぶ初心者向けの授業であり、中国語学習の入門基礎講義として、主に二段階に分けて講義を進める。前半において、ピンインの構成、母音、子音、声調等について学習する。後半において、主に「自己紹介」、「図書館で本を借りる」、「食堂で食事する」、「大学での授業」といった主題をめぐって、中国語の基礎的な文法構成、語彙、日常会話などを学習することで、中国語の基本文法の構造を把握することを目指す。「中国語Ⅱ」は、前期の「中国語Ⅰ」の続きとして、「趣味」、「家を訪問する」、「バイトする」、「試験」という主題をめぐって、日常生活によく使われる中国語の文法・単語を学び、より複雑な会話ができるようになることを目指す。

このうち、単語の習得としては、前期・後期合わせて 300 個程度の語彙を把握することを目標としているが、これはおおむね中国語検定試験である HKS の 2 級に該当するレベルである。ここでは、名詞、動詞、形容詞・副詞など、フレーズの四種類に分けて主要な単語を簡単に整理した。下記の表 1 がそれである。

表 1 初級中国語授業の単語表

名 詞	我、你、他、学生、名字、大家、汉语、老师、图书馆、管理员、书、这、那、食堂、午饭、中国菜、日语、同学、我们、时间、方法、问题、点、分、表达、生日、年、月、日、星期、周、今天、今年、明年、兴趣、爱好、小说、电影、电影院、音乐、羽毛球、美国、日本、太极拳、想法、朋友、家、照片、全家福、口、爸爸、妈妈、爷爷、奶奶、哥哥、弟弟、爱人、叔叔、女儿、儿子、水果、兼职、便利店、家教、车、出租车、手机、电话、考试、前、后、汉语课、内容、单词、语法、听力
動 詞	是、姓、叫、请、认识、留学、关照、介绍、借、等、见、麻烦、吃、开始、问、知道、说、喜欢、习惯、想、工作、看、来、去、说、听、画、打工、打球、学、教、回家、进来、打扰、给、坐、试、拜托、联系、要、上课、下课、复习、抱、帮、练习、加油、翻译、懂、欢迎
形容詞・副詞など	很、都、也、什么、不、没、好、高兴、多、难、对、再、在、真、经常、便宜、好吃、快、先、对、一定、更、天啊、太、随便、谁、哪、几岁、才、忙、应该、临时、烦、辛苦、难、一起、简单、但是
フレーズ	你好、再见、谢谢、没事儿、不客气、问问题、非常好、找工作、教日语、学汉语、打羽毛球、等一下、给你、上学、随便坐、不在家、去图书馆、看书、看电影、听音乐、画漫画、太好了、没问题、不好意思、抱歉、对不起、小心、没考好

先行研究<sup>5)</sup>によれば、上記の中国語の単語は主に同形語と非同形語の二種類に大別できる。同形語は、日中の字面が全く同じ単語のことを指しており、さらに同形同義語と同形異義語に分けられる。同形同義語は、「政治」、「文化」といったように同じ漢字かつ同じ意味の語彙であり、日本人の学習者にとって説明がなくてもそのまま理解できるものである。同形異義語は、「大家」、「工作」といったように同じ漢字で意味が異なる語彙であり、母語の影響で誤解されやすいが、意味の相違が適切に説明され

た場合（例えば、中国語の「大家」は大家さんではなく、みなさんという意味である。）比較的容易に理解することが可能となる。

日本人の学習者にとって最も難しいのは、非同形語である。非同形語は、形態と意味の観点から観察したときの同形語以外の語彙（異形同義と異形異義）を指しており、「照片」（写真）、「手机」（スマホ）などが挙げられる。これらの非同形語は、外国語でありながら外国語ではなく、近くて遠い存在であるため、学習者にとって理解に困難を伴う語彙である。これまでの初級中国語授業のなかで、非同形語の語彙学習は履修者に「分かりづらい」、「覚えにくい」、「漢字を見て意味を想像できない」という感想を抱かれている。

### 3. 語彙理解に関する難点と不明点

履修者がフィードバックした語彙理解に関する難点と不明点を語る前に、初級中国語授業の履修者について簡単に説明しておく。初級中国語授業は、全学共通教育科目の外国語科目群に属する1単位の選択科目であり、学部、学年を問わず、学生全員が履修することができる。筆者が担当するA・Bクラスは、2023年度の履修者が合計で71人となっており、主に一回生と二回生を中心としている。履修者の中国語学習経歴について調査したところ、再度履修の5人を除いて、残りの66人は全員中国語の学習歴がなく、中国への滞在歴（観光などの短期滞在も含める）もない初心者であることがわかった。

筆者は、初級中国語授業履修者の語彙学習の実態を把握するために、2023年度の履修者を対象に語彙理解に関する難点と不明点を調査した。具体的には、毎回の授業のあと、出席者に分かりづらいと思われる新規単語(3つまで)とその理由を下記の例1のように提出してもらった。

例1：

照片：なぜこの漢字二字で写真という意味になるか、理解するのが難しい。

联系：なぜ連絡という意味になるのかが理解できない。

拜托：頼むという漢字がないので、意味が覚えにくい。

提出された単語のなかから、よく問題視されるものを抽出し、文字数とアルファベット順で「語彙」、「意味」、「主な難点・不明点」に分けて整理すると、下記の表2のように示すことができる。

表2 語彙に関する難点と不明点

語彙	意味	主な難点・不明点
1.帮	手伝う、助ける	日本語にはない漢字で、意味が想像しにくい。 漢字を見るだけでは、手伝うが連想できない。
2.懂	わかる	日本語の漢字の「懂」と似ているので、わかると結びつけにくい。
3.听	耳で聞く	字から連想できない。 漢字が見慣れない。
4.找	探す	「找」という漢字から探すというイメージがわからない。 日本語にない漢字だから、中国語には日本語にない漢字が出てくるので難しい。
5.拜托	頼む、お願いする	漢字には「頼む」の要素がない。

		発音が日本語の「バイト」に似ている、間違えそうになる。 漢字から想像しにくい。
6.打工	バイトする	「工」がバイトとなるのが分かりづらい。 日本語の意味と結びづけにくい。
7.电影	映画	なぜ映画なのか、日本語と字が違いすぎて理解できない。 漢字だけをみてもなんかイメージしづらい。
8.哥哥	兄	「兄」の漢字になぜ哥を使うのかがわからない。 はじめて見た漢字だから。
9.加油	頑張る	「頑張る」という意味につながらない。
10.进来	入ってくる	「进」の意味の理解が難しい。
11.美国	アメリカ（国）	美しい国と書いてなぜ米国という意味になるのかわからない
12.随便	随時に、自由に、勝手に	漢字を見て意味を想像できない。 どちらも日本語の漢字にあるが、意味が異なるため難しいと思う。 勝手にというイメージできない。
13.手机	携帯電話、スマホ	「て」と「つくえ」から携帯、スマホという意味に繋がりにくい。
14.天啊	ああ、神さま、何てことだ	日本語の意味と似ていないから覚えにくい。
15.照片	写真	なぜ写真という意味になるか理解するのが難しい。
16.不客气	どういたしまして	意味は覚えにくい。
17.出租车	タクシー	なぜタクシーなのかかわからない。
18.全家福	家族全員の記念写真	なぜ家族写真なのかかわからない。また、家族写真なのに「照片」が使われないので混乱してしまう。
19.没事儿	大丈夫	大丈夫ととれる漢字が一つもなく意味の推測が難しい。 日本語の漢字と意味が重なるものがないからである。
20.没考好	試験がうまくできなかった	「没」でわるい、よくなかったというのはわかるが「好」が何を表すのか分かりにくい。 なぜ「好」がつくのかかわからない。
21.太好了	よかった	日本語の太いとは意味が異なるからである。
22.有点儿	すこし、ちょっと	「有点儿」と「一点儿」の違いがわからない。
23.一点儿	すこし、ちょっと	

24.抱歉	すみません	似ている意味の単語があって使い分けが難しい。他にも同じ意味のものがあ、一番日本語と遠いため、使い分けが難しい。 三種類の「すみません」のニュアンスの違いが難しく場面に応じた使い方が必要だと知って難しいと思った。 「歉」の漢字がみたことのない漢字で意味の推測が難しい。
25.对不起	すみません	
26.不好意思	すみません	

表 2 に示しているように、履修者が抱えている問題点は概ね以下の三種類に集中している。第一に、日中異形の漢字（簡体字も含む）、つまり日本語にはない漢字で構成された語彙については違和感を感じるため、意味の想像をしづらい。第二に、日中同形の漢字が含まれる語彙については、母語の干渉により日本語の漢字の意味を連想してしまい、語彙の意味を誤解したりする。第三に、意味が類似する語彙（とりわけ挨拶用語）の使い分けがわからない。

#### 4. 解説と理解度変化

履修者によりうまく語彙を理解させるために、質問された箇所について追加の解説を行った。日中異形の漢字で構成される語彙について、簡体字に該当する繁体字を示しながら語彙を説明したり、漢字の字体を偏旁冠脚でそれぞれのパーツに分解して漢字と語彙の説明をしたりした。日中同形の漢字が含まれる語彙について、日本人に馴染みのある漢文訓読の方法を生かして、語彙の理解を深めていった。さらに、必要に応じて、語彙の由来と語源に関する文化的・歴史的な背景知識を補足した。意味が類似する語彙（挨拶用語）について、それぞれの使うべき場面を追加説明することで、使い分けをより明確にした。具体的な解説内容は、下記の表 3 の「解説」欄にまとめている。

また、解説の有効性を把握するために、語彙に対する理解度を「0:理解できない」、「1:少し理解できる」、「2:完全に理解できる」の三つに分けて、解説を聞く前と聞いた後の履修者の理解度についてアンケート調査を行った。アンケートの設問は例 2 に示している。

例 2：「帮」：手伝う、助けるについて

- (a) 解説を聞く前の理解度      0   1   2  
(b) 解説を聞いた後の理解度    0   1   2

これによって、 $c_i = b_i - a_i$ ,  $i = 1, 2, \dots, n$ （履修者数）は語彙に対する履修者の理解程度変化を意味する数値となり、解説の有効性を表すことができる。語彙ごとの履修者全員の理解程度変化の平均値は  $\bar{c} = (c_1 + c_2 + \dots + c_n)/n$  で計算できるので、得られた  $\bar{c}$  を「理解程度変化」欄に入れている。

表 3 解説と理解度変化

語彙	解説	理解度変化の 平均値 ( $\bar{c}$ )
1.帮	「帮」は「帮助」の口語的言い方で、助ける、手伝うという意味である。	1.04
2.懂	「懂」は「忖」（心）と「董」（ただす、おさめる）に分けられる。心の中にただすと訓読できるので、わかる、理解すると拡張して理解できる。	0.84

3.听	「听」を繁体字に書き換えたら、「聽」となる。古典中国語の中では「听」と「聽」両方存在し、「聽」は耳偏で「聴く」という意味で、「听」は口偏で「笑う」という意味だった。漢字の簡化に伴って、「聽」が「听」となったので、「听」が「聞く」という意味となった。	0.64
4.找	「找」は「扌」（手）と「戈」（兵か）に分けられる。手で探す。	0.64
5.拜托	「拜」：拝む 「托」：託す 「拜托」：誰かに拜んで、何かを託す→頼む、お願いする。	1.36
6.打工	「打」：する、やる。 「工」：「工作」（働く）から来たものである。 「打工」：働きをすることであるが、正式な仕事以外の場合に使う表現でバイトするという意味である。	1.08
7.电影	映画が中国で流行する前、中国では光で白い布に影を落とす「影劇」が既に存在していた。映画は、電力で放映する影劇と理解すれば「电影」となる。	1.04
8.哥哥	「哥哥」は外来語である。王朝交替のなか、漢民族と少数民族の文明の融合も同時に存在したため、少数民族の語彙が中国語に入ってきた。漢字文化圏のなかでは、お兄さんのことを「兄」と呼んだが、「哥哥」はアルタイ諸語の年上の男性に対する「agha」という呼び方から来たものだと言われている。	0.92
9.加油	給油する、燃料を補給するという意味もある。せいを出す、元気をだす、努力する、励ます、元気付けるといった競技などの際のかけ声なので、仕事・競技で頑張るという意味である。	1.2
10.进来	「进」の繁体字は「進」であり、進む、前進する、中へ入るという意味である。「进来」は入ってくるという意味である。	1.12
11.美国	「美国」は、「美利坚合众国」の略称で、「美利坚」は、（ア）メリカの音訳である。	1.2
12.随便	「随」：随う 「便」：便宜 「随便」：あなたの便宜に随う→自由、勝手	1.32
13.手机	「机」の繁体字は、「機」である。そのため、意味はつくえではなく、機械である。「手机」は手で弄る機械と理解すれば、スマホ、携帯電話となる。	1.2
14.天啊	中国語の中では、神のことを俗に「老天爷」と呼ぶ。ここの「天」は、そらではなく、神のことを指している。英語の「Oh my god」をつねに「我的天啊」と訳す。	1.04
15.照片	照：照る、照らす→フラッシュする 片：薄片、きれ 「照片」：撮影して写真に写すと理解すれば、写真となる。	1.16
16.不客气	客：お客様 气：気分 不：不要 「不客气」：お客様の気分が不要→どういたしまして	1.48

17.出租车	「租」：租借 「出」：出す 「车」：車 「出租车」：租借に出す車→タクシー	1.6
18.全家福	「全家」は家族全員で、「福」は幸福を意味する。 覚えるコツ：家族全員が揃って記念写真をとるのが幸福である。	1.04
19.没事儿	①用事がない、暇がある ②たいしたことはない→大丈夫	1.04
20.没考好	「没」：否定を表す「ない」 「好」：よい、うまい 「没～好」：うまく、よくできなかった。	1.04
21.太好了	「太～了」：とても、大変、すぎる 覚えるコツ：食べすぎると、太る	1.08
22.有点儿	なにかの基準点があってそこと比較する場合のすこし（主観的、感覚的） 例：有点儿冷 ちょっと寒い	0.88
23.一点儿	わずかな数量を表す（単純に量的に少ないこと） 例：吃一点儿水果 果物を少し食べる	0.76
24.抱歉	「歉」：すまない気持ち 「抱」：抱える 「抱歉」：すまない気持ちを抱える。 使えるシチュエーション：依頼したのに忘れた場合、ちょっとだけ時間に遅れた場合、私用で長期休暇した場合、会議や打ち合わせが時間通りに終わらず、延長した場合、使用できないと騒いだが、自分のミスで使用方法を間違えた場合など、日頃のちょっとした失敗に使っていい。	1.16
25.对不起	客観的に自分の過ちを認め、日常的な場からフォーマルな謝罪の場まで「すみません」、「申し訳ない」と謝罪する時に使う。ただし、フォーマルの場合には、「本当に申し訳ない、心から謝ります」という意味合いが濃い。また、日本語の「すみません」のように、呼びかけには使わないので注意してください。	0.68
26.不好意思	口語的で、謝罪の程度は、親しい間柄や正式でない場合、罪を重いものだと感じないときに用いることが多い。 日本人が普段何気なく口にしていう「すみません」に近いし、より厳密に言うとは、「失礼します」的な意味合いに近い。 使えるシチュエーション：満員電車で降りる時、道を通させてもらいたい時など。	0.8

表3に示しているように、履修者の理解度変化の平均値（ $\bar{e}$ ）はマイナスの数値となっていないため、一般的には語彙に対する理解が深まったと考えられる。

まず、理解度が比較的大幅に高まった語彙（ $\bar{e} > 1.2$ ）として、「出租车」（ $\bar{e} = 1.6$ ）、「不客气」（ $\bar{e} = 1.48$ ）、「拜托」（ $\bar{e} = 1.36$ ）、「随便」（ $\bar{e} = 1.32$ ）があげられるが、いずれも漢文訓読を生かした解説法が用いられている。これによって、中国語の語彙理解は漢文風の説明によって大きく深まると考えられるであろう。

そして、理解度がある程度高まった語彙 ( $1 \leq \bar{e} \leq 1.2$ ) として、「手机」 ( $\bar{e}=1.2$ )、「美国」 ( $\bar{e}=1.2$ )、「进来」 ( $\bar{e}=1.12$ )、「电影」 ( $\bar{e}=1.04$ ) といったものがあげられるが、そこで利用されたのは、繁体字を示す解説法や語彙の由来・語源を説明する解説法である。これによって、学習者の語彙理解に若干の効果があると考えられるであろう。

一方、理解度がわずかしかなかった語彙 ( $\bar{e} < 1$ ) も 7 つあった。その原因を判明するために、理解が深まらなかったと回答した履修者から 3 名を抽出して事例研究 (case study) を行った。主な理由は下記の表 4 に示している。

表 4 理解度が高まらなかった理由

語彙	理解度変化の平均値 ( $\bar{e}$ )	主な理由
1. 懂	0.84	「懂」という字にまったくなじみがないためあまり理解は深まらなかった
2. 听	0.64	「听」と「聴」がなんでそもそも両方存在したのか気になった。もとはわらうという意味を聞いて余計混乱してしまった。
3. 找	0.64	「才」(手) から探すに意味がつかない。
4. 哥哥	0.92	成り立ちがわかったが、兄とは結びつきにくいと感じた。漢字も難しく意味の由来も遠いので難しく感じる。
5. 有点儿	0.88	違いがわかったが、うまく使い分けられないと感じる。
6. 一点儿	0.76	
7. 对不起	0.68	微妙なニュアンスの違いがわかったが、うまく使い分ける自信がない。
8. 不好意思	0.8	

表 4 に示している主な理由から、下記のことが推論できよう。まず、初級の学習者にとって、漢字の字体の分解と語源の成り立ちは些か難しい内容であるため、踏み込んだ説明をすると、理解が深まるどころか、逆に混乱してしまう可能性がある(「懂」、「听」、「找」)。また、日本語の中にはない漢字あるいは馴染みのない漢字について、解説を理解したとしても語彙そのものに対する理解が深まらない傾向がある(「哥」)。さらに、類語の問題(「有点儿」と「一点儿」、「对不起」と「不好意思」)について、抽象的な解説には限界があり、それより例文や会話のなかで実際に運用・練習させたほうがより効果的であろう。

## 5. まとめ

本稿では初級中国語学習者の語彙習得に関する実態を調査することで、語彙理解における問題の所在を明らかにし、より効果的な教授法を考究することを試みた。

中国語の語彙は主に同形語と非同形語の二種類に大別できるが、日本語に近くて遠い存在の非同形語は、日本人の学習者にとってむしろわかりにくい存在である。一方、現在使用されている中国語の教科書には、日中漢字の差異に関する情報提供を意識して作られたものは少ないようである。そのため、授業中に日中漢字の用法の違いを明らかにし、語彙理解に対して適切な指導を行うことが必要である。

筆者は、2023 年度の初級中国語授業の履修者を対象に語彙理解に関する調査を行った結果、日本語にはない漢字が理解しづらいこと、日中同形の漢字について母語の干渉により誤解しやすいこと、類語の理解・使い分けが難しいことという問題点が存在することは判明された。履修者に質問される箇所に



ついて、漢文訓読、字体の分解や語源の説明などの教授法を取り入れて解説した。実際の効果をアンケート調査で検証した結果、漢字語彙の指導方法の改善によって、履修者の語彙に対する理解が深まる傾向にあることを示すことができた。

本稿は、初級中国語の語彙理解に絞り、その指導方法について検討したが、今後、中級・高級中国語教育の実態を明らかにし、その中での語彙指導の位置づけ及びあり方についても検討すべきであろう。

#### 《参考文献》

- (1)上野恵司、魯曉琨、おぼえておきたい日中同形異義語 300、光生館(1995)
- (2)奥水優、中国語の教え方・学び方:中国語科教育法概説、日本大学文理学部(2005)
- (3)樋口真二、中国語はこんなに日本語と似ている、東京図書出版社(2014)
- (4)荒川清秀、漢語の謎:日本語と中国語のあいだ、ちくま新書(2020)
- (5)橋本陽介、中国語は不思議:「近くて遠い言語」の謎を解く、新潮社(2022)
- (6)王承雲、同形異義語における中国語と日本語の対照研究—中国語教育の視点から—、人文科教育研究 Vol.25, pp.143-152(1998)

#### 《注》

- (1)奥水優『中国語の教え方・学び方:中国語科教育法概説』日本大学文理学部、2005年、5-6頁、橋本陽介『中国語は不思議:「近くて遠い言語」の謎を解く』新潮社、2022年、はじめに3頁。
- (2)近年のものとして、樋口真二『中国語はこんなに日本語と似ている』東京図書出版社、2014年、荒川清秀『漢語の謎:日本語と中国語のあいだ』ちくま新書、2020年、橋本陽介『中国語は不思議:「近くて遠い言語」の謎を解く』新潮社、2022年があげられる。
- (3)同形異義語の語例を説明する辞書・専著として、上野恵司・魯曉琨『おぼえておきたい日中同形異義語 300』光生館、1995年、郭明輝・磯部祐子ら編著『日本語と中国語の意味をより深く理解するための日中同形異義語 1500』国際語学社、2011年があげられる。意味的相違を比較・説明する専論として、王承雲「同形異義語における中国語と日本語の対照研究—中国語教育の視点から—」『人文科教育研究』25、1998年、143-152頁、党碧芸「中日同形異義語についての一考察:漢字の多義性と中日対訳を中心に」『フェリス学院大学日文学院紀要』17、2010年、A1-A10頁、任川海「日本語と中国語における漢字同形異義語の意味的相違に関する研究—『日中辞書』『中日辞書』における辞書の解釈の問題点及び辞書編纂の諸問題をめぐって—」京都外国語大学博士論文、2015年などがあげられる。
- (4)中国語習得の実験的検討は数多く存在しているが、主に初級・中級中国語の文法の教授法と意欲開発の問題に集中しており、近年のものとして張婧韓「中国語学習意欲尺度の開発:日本人中国語学習者のデータによる評価」『ことばの科学』36、127-145頁、2022年、趙嵐・籠谷香理「初級中国語学習者に対する"了"の教授法に関する試み」『研究論集』116、105-120頁、2022年、安田真穂・籠谷香理・趙嵐・宋天鴻「可能性を表す“会”の教授法について:中国語初級学習者を中心に」『研究論集』118、2023年、1-17頁、神谷智幸「『初級中国語文法』教授法再考:“有”からなる『連動文』と『兼語文』」『駒澤大学外国語論集』35、2023年、17-45頁があげられる。
- (5)前掲:王承雲「同形異義語における中国語と日本語の対照研究—中国語教育の視点から—」。